

2018年2月1日

平成29年度「名古屋市女性の活躍推進企業認定表彰制度」にて 「最優秀賞」を受賞

アフラック（日本における代表者・社長：古出 眞敏）は、名古屋市が主催する平成29年度「名古屋市女性の活躍推進企業認定・表彰制度」において「最優秀賞」を受賞し、2018年1月29日に表彰式が行われました。

「名古屋市女性の活躍推進企業認定・表彰制度」は、女性がいきいきと活躍できるような取り組みを行っている企業を①意識改革、②仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進、③女性の活躍推進の3つの視点から審査を行い、特に優れた企業を表彰するものです。

当社は、すべての社員の多様性を尊重し、その能力を最大限発揮できる環境を作ることで、持続的な成長を目指すダイバーシティの推進に積極的に取り組んでいます。その第一歩として、女性の活躍推進を重要な経営戦略の一つとして定め、2014年から「女性の活躍推進プログラム」をスタートさせています。同プログラムでは、指導的立場（管理職・課長代理）に占める女性社員の割合を2020年末時点で30%、ライン長ポストにおける女性比率（女性ライン長比率）を2025年までに30%（マイルストーンとして2020年に20%）以上とする目標を設定するなど、成長意欲のある女性社員がより活躍できる企業を目指しています。

今般、これらの取り組みが評価され「最優秀賞」を受賞しました。当社は今後も、女性をはじめとする多様な人材が最大限に能力を発揮できる環境を整備することで、ビジネスの持続的な成長を目指すダイバーシティの推進に積極的に取り組んでいきます。

「最優秀賞」の受賞理由

- ダイバーシティ推進に関する「推進の重要6領域」を定め、社長を中心とした推進体制を構築し、各部門が自立的に推進している。
- 2020年末までに指導的立場に占める女性の割合を30%以上にするを目標に、階層ごとに個別の施策を実施するなど、女性社員の育成・意識改革に取り組んだ結果、指導的立場に占める女性比率は26.2%（2017年8月時点）まで上昇し、女性の執行役員、常務が誕生している。
- 営業と営業事務という分業制を見直して全員営業としたことで、男性は営業、女性は営業事務といった性別役割分担意識を解消し、営業実績の向上に貢献した。

